

EC 実践研修（基礎コース）講座

背景

ビジネスでは、ICT・インターネット社会に対応する《EC 実践能力》が求められています。

※「EC」は、“Electronic Commerce” “Electronic Company” “Electronic Communication”

携帯電話の普及や情報家電の登場のように目で見えるものや、ネットショッピング、電子行政手続等を体験することでネット社会の到来を実感している方が増えつつあります。

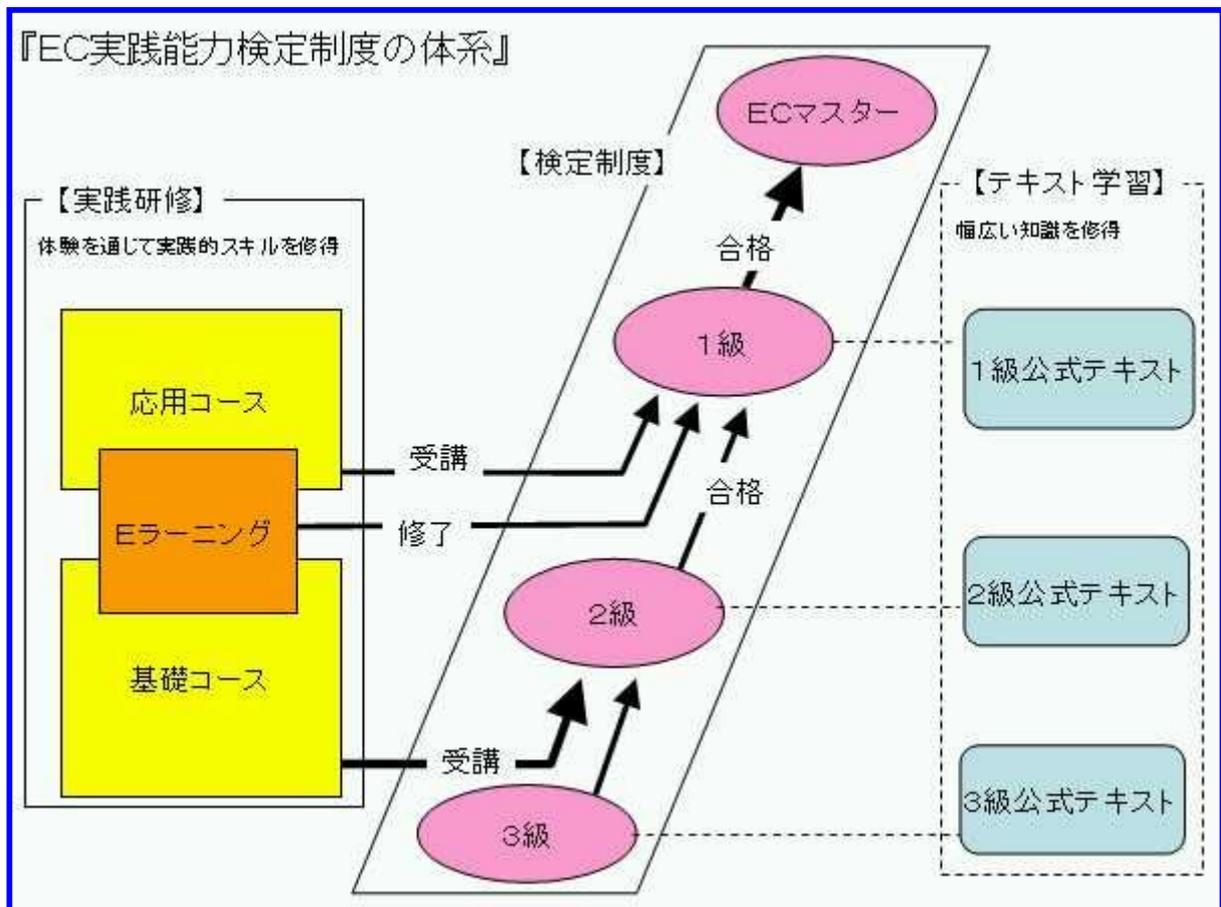
また、ビジネスにおいては、電子商取引や電子入札等が本格的になり、個人情報保護法をはじめネット関連の法律が次々に施行されています。こうした中、企業においては進展するネット社会に対応する知識とスキルをもつ人材が求められています。

平成16年4月から開始したEC実践能力検定試験は、企業においてネットワーク社会への対応を推進する人材を育成することを目的としています。

受験にあたっては、ビジネス実務に則した体験学習を行う「EC実践研修制度」を設けており、この中のEC実践研修（基礎コース）では、ネット社会の実像や規制改革などの最新のIT社会の現状等の知識を学ぶだけではなく、実際に電子証明書を取得し、秘密鍵、公開鍵の仕組み等を体験学習することで実践的なスキルを修得・理解をするとともに、同研修会終了後は、eラーニング教材により、自宅や職場で学習を継続することができます。

なお、このEC実践研修（基礎コース）の受講は、それぞれEC実践能力検定試験2級の受験要件となっています。

（日商 HP から引用）



（日商 HP から引用）

🔗 講座概要

- 〔1〕 当講座は、日本商工会議所認定《EC 実践能力検定試験2級》受験要件となる研修であり、受講後は、受験資格が得られます。
- 〔2〕 当講座を指導する講師は、日本商工会議所で認定された講師であり、EC実践研修実施のための教材、カリキュラムの提供を受けて、同研修を実施しております。
- 〔3〕 受講形態は、集合研修《秋田市内研修会場》かブロードバンドを利用したインターネット上のWeb教室《e-gakko Taki あきた 教室（バーチャル教室）》にて行います。

🔗 講座受講対象者

- 〔1〕 日本商工会議所認定《EC 実践能力検定試験2級》の取得を目指す方。
- 〔2〕 日本商工会議所認定《EC 実践能力検定試験3級》を合格された方（必須ではありません）。
- 〔3〕 ブロードバンドによるライブ型双方向遠隔教育システム（最先端 e ラーニングシステム）による受講を希望する方。
- 〔4〕 受講するためのシステム要件を満たしている方。（下記のシステム要件を参照）

🔗 システム要件

パソコンやネット環境に不安な方や確認したい方は、無料でシステム体験を行っておりますので、遠慮なくご相談、ご連絡ください。

パソコンについて

CPU	Intel社、AMD社 各CPU 500MHz以上必須、800MHz以上推奨
メモリ	256MB以上推奨 ※ 環境によって異なる場合があります。
空きディスク領域	20MB以上
ディスプレイ	800×600 ピクセル以上
OS	快適な研修を行うためには、Windows XP 以上を推奨しますが、WindowsMe、Windows2000 Professional でも可能です。 ※ MacOSでは動作しません。

インターネット環境

ADSL・CATV・光ファイバーなどのブロードバンド環境(上り/下り 512Kbps 推奨)

※ISDN 回線では快適な通信ができませんのでご注意ください。

周辺機器

ヘッドセット (マイク付きヘッドフォン)	ヘッドセットはeラーニング教材に同梱されています。 ※スピーカーとマイクでも動作しますが、ハウリング等が発生することがあります。
Web カメラ(必須)	ご自身でご用意ください。 (2000 円前後で家電量販店などで購入できます。メッセージャーや Skype 等でもご利用できるのでこの機会にご購入してみてください)

※目安として3～4年以内にご購入いただいたパソコンであれば利用可能です。

※ブロードバンドとは、ADSL・ケーブルテレビ・光ファイバーなどの高速回線のことを示します。

講座内容

Capt	研修内容
1	ネット社会について (EC 実践能力、e-Japan 戦略、B2B・B2C・B2G の市場規模、ネット対応力、デジタル社会についてネット社会への対応等)
2	IT インフラの重要性 (インターネット FAX とは、Web メール等)
3	クライアントパソコンと接続規格 (接続規約に関する知識の必要性、コネクタと名称、ケーブル、USB 等)
4	ネットワークの基礎 (ネットワークの基礎知識、種類、有線 LAN、無線 LAN とセキュリティ等)
5	e ラーニング教材の概要と学び方 (e ラーニング教材について、概要、構成等)
6	デジタルデータと品質 (データ品質、圧縮方式、可逆圧縮と非可逆圧縮、品質、動画・サウンドデータ等)
7	電子証明書取得の実習 (電子証明書について、取得の準備、電子証明書の詳細、認証局等)
8	電子署名の暗号化 (ネット社会における本人確認、電子証明書の正体、電子署名付きメールの送受信、暗号化メール、公開鍵、電子入札、住基カード等)
9	個人情報保護と著作権 (知的財産権保護、著作権等)

※研修の進め方により、一部内容が変更となる場合があります。

《どこでも学べるネット取引実践編》の内容

この《どこでも学べるネット取引 実践編》を使用する《EC 実践研修》は、《EC 実践能力検定試験》を受験する時の必須条件になっています。ですから、この教材の内容は、検定試験の出願範囲をカバーするようになっております。

《EC 実践能力検定試験》で問われるのは、単なる理論や知識ではなく、実際に EC を活用するための実践能力です。そのため、《EC 実践能力検定試験》を受験するときは、《どこでも学べるネット取引 実践編》の体験学習がとても重要になります。

日本商工会議所では、この教材を使用するように義務付けられております。

第1単元：総論 ここまできたネット社会
第2単元：電子認証と電子証明書について
第3単元：電子マーケティングとデジタルデータ
第4単元：規制改革とe ビジネスモデル

第5単元：B2C 電子商取引の実践
第6単元：B2B 電子商取引の実践
第7単元：B2G・C2G 電子商取引の実践

研修日時と時間

講習時間6時間+サービス及び質問時間(フリー)1時間 = 6~7時間

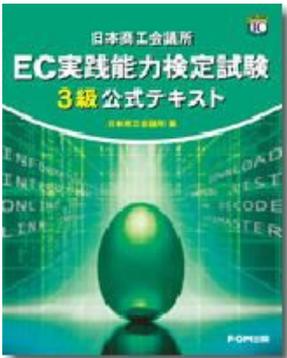
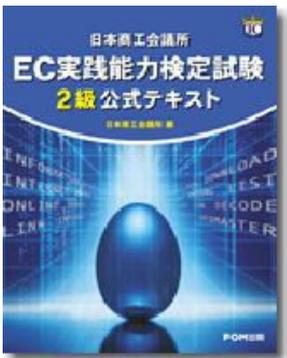
- ◆ 6時間×1日コース、3時間×2日コース、2時間×3日コース
- ◆ 実施時間は、研修生と時間調整をさせていただきますので、9:00~22:00 まで可能です。

※研修される方のご要望・ご都合にお応えいたします。

使用教材

〔1〕 テキスト・・・・・・・・講習までに、ご自身で書店等でお求めください。
(当教室でも注文を受けております)

- ◆ EC 実践能力検定試験3級テキスト (税込み2100円)
- ◆ EC 実践能力検定試験2級テキスト (税込み2520円)

	
日本商工会議所 編 FOM 出版 EC 実践能力検定試験 3級公式テキスト	日本商工会議所 編 FOM 出版 EC 実践能力検定試験 2級公式テキスト

〔2〕 e ラーニング教材

この教材の費用は、受講料に含まれております。

	教材 CD-ROM 説明書 ヘッドセット 電子認証用 セキュリティキー 受講ライセンス
制作 日本商工会議所 e ラーニング《どこでも学べるネット取引 実践編》 26,000円	

🔗 受講料

EC 実践研修（基礎コース）

当教室の生徒様 45,000 円（税込み）

新規入会生徒様 50,000 円（税込み）

- ※ 振込み手数料はお客様ご自身のご負担でお願いいたします。
- ※ 研修2週間前までに（前金）お振込みをお願いいたします。

受講料に含むもの

- ◇ オリエンテーション（30分～1時間の無料体験、システム確認）
- ◇ 研修費
- ◇ e ラーニング教材及び授業用資料
- ◇ 教材・修了証等の送料

研修時研修生ご自身で準備していただくもの

- ◇ Web カメラ
- ◇ テキスト（当教室でも注文を受けております）

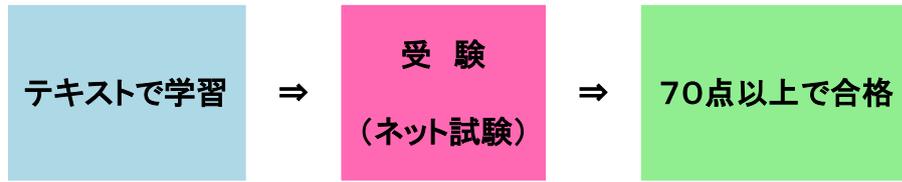
- ※ 集合教育形式で受講される場合は、現在主催団体等と検討中ですが、上記価格より 10,000 円程度高くなる予定です。
- ※ 社員研修等ご利用の場合（集合教育形式）は、割引制度もあります。

🔗 手続き方法

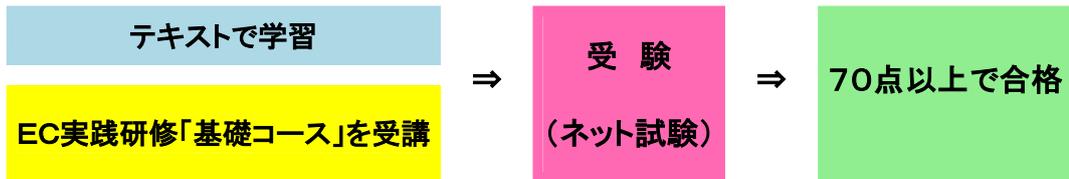
別途ご連絡いたします。

【各級の合格までの道程】(日商 HP より)

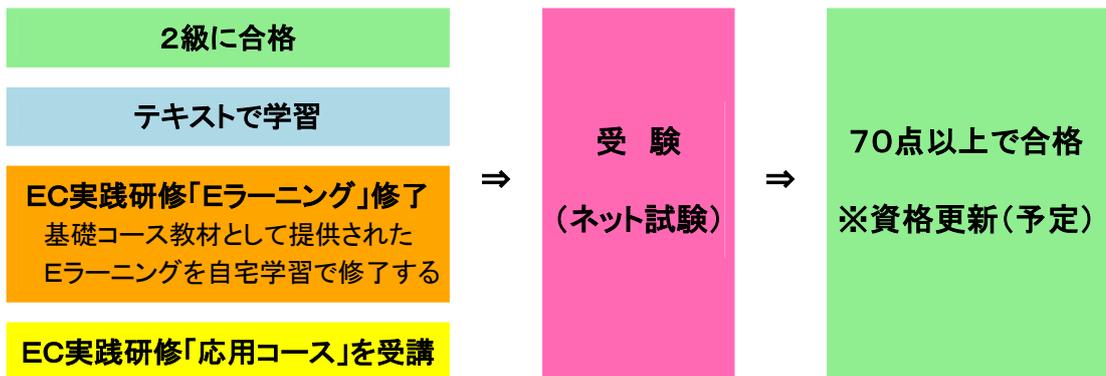
3級



2級



1級



ECマスター

